

# 新潟市歴史年表

・明治5（1872）年12月2日までは太陰暦を用い、以後は太陽暦を用いました。  
 ・月日は3月3日を3.3のように記しました。

年代	記事
BC4000	大江山地区(江南区)や福井地区(西蒲区)の砂丘に縄文時代前期の集落が現れる。
2C～3C	角田山麓や新津丘陵に高地性集落が営まれる。
4C	角田山麓や新津丘陵に古墳が造られる。緒立八幡神社古墳(西区)が造られる。
6C	高志深江国造が「国造本紀」に見える。
647 大化3	淳足柵が設置され、柵戸が置かれる。
690	このころ越国が越前・越中・越後に分割され、淳足以北が越後国となる。
702 大宝2	蒲原・古志・魚沼・頸城の4郡が、越中国から越後国へ編入される。
8C前半	笹神丘陵と新津丘陵で鉄と須恵器の生産が盛んになる。
927 延長5	『延喜式』が完成し、蒲原郡13社・沼垂郡5社の神名、蒲原津湊などが記される。
931～938 承平年間	蒲原郡5郷・沼垂郡3郷の郷名、国府の所在地などが『和名抄』に記される。
1335 建武2	南北朝の動乱により、南朝方と北朝方による蒲原津の争奪戦が始まる。
1551 天文20	上杉謙信が三ヶ津(沼垂・蒲原・新潟)の横目代官職に大串氏を任命する。
1581～1582 天正9～10	新発田重家が上杉景勝の支配下にあった新潟津の通行税をとる権利を押領し、両者は対立する。重家に対抗するため景勝方は木場城(西区)を築き、重家方は新潟津の町人を人質にする。
1586 天正14	上杉景勝方が新潟・沼垂を新発田重家から奪い取る。
1587 天正15	上杉景勝が新発田城を攻略し、新発田重家を滅ぼして越後を統一する。
1598 慶長3	1.10 豊臣秀吉が上杉景勝に会津(福島県)への国替えを命じる。 4.2 春日山へ北ノ庄(福井県)の堀秀治、新発田へ大聖寺(石川県)の溝口秀勝、村上へ小松(石川県)の村上頼勝が移り、新潟市域は堀秀治領と溝口秀勝領になる。
1600 慶長5	会津の上杉景勝が兵を越後に進入させ、越後一揆が起こる。
1655 明暦1	この年、新潟町が白山島へ移転する。
1684 貞享1	この年、沼垂町が4度目の移転により、蒲原から現在地へ移転する。
1697 元禄10	この年、新潟湊の入津船が40か国余り、取扱額約46万両を記録する。
1710 宝永7	小新・亀貝など村上領の村民が幕領編入を求めて越訴する。翌年、幕府が首謀者を処罰する。
1730 享保15	幕府が新発田藩に命じて松ヶ崎堀割を完成させる。
1731 享保16	この年の春、雪解け水による洪水で松ヶ崎堀割が決壊し、阿賀野川の本流となる。
1768 明和5	9.26～27 新潟町で明和騒動が起こり、涌井藤四郎らが約2か月にわたり町政を掌握する。
1770 明和7	8.25 長岡藩が明和騒動の首謀者涌井藤四郎・岩船屋佐次兵衛を処刑する。
1820 文政3	1. 内野新川が完成、通水する。
1843 天保14	6. 幕府が長岡藩から新潟町を上知し、勘定吟味役川村修就を初代新潟奉行に任命する。
1858 安政5	幕府がアメリカなど5か国と修好通商条約を締結し、新潟の開港を定める。
1868 慶応4	1.3 鳥羽・伏見の戦いが始まる。 7.25 新政府軍が太夫浜(北区)に上陸する。 7.29 新政府軍が新潟町を占領し、新潟町は新潟民政局の支配下に入る。
1868 明治1	9.8 明治と改元する。 11.19(西暦1869年1月1日) 新政府が新潟を開港する。
1869 明治2	10.5 関税業務を取り扱う新潟運上所が開所する(明治6年1月、新潟税関と改称)。

年 代	記 事
1870 明治 3	3.7 政府が水原県を廃止して新潟県を設置し、県庁が新潟町に移る。
1872 明治 5	新潟県令楠本正隆が着任し、県内で大区小区制が実施される。
1873 明治 6	5.31 大蔵省が第四国立銀行の設立を認可する(営業開始は明治7年3月)。
1879 明治 12	4.28 新潟県が郡区町村制を実施し、新潟は区となり、蒲原郡は5郡に分かれる。
1883 明治 16	3.27 新潟県会議事堂が落成する。
1886 明治 19	11.4 初代萬代橋の開通式が挙行される。
1889 明治 22	4.1 「市制」・「町村制」が施行される。新潟区が新潟市となり、町村合併が実施される。
1896 明治 29	7. 新潟県全域で大水害が起こる(横田切れ・木津切れ)。
1897 明治 30	11.20 北越鉄道の沼垂～一ノ木戸間が開通し、沼垂駅が開業する。
1901 明治 34	11.1 新潟県が大規模な町村合併を実施する。
1904 明治 37	5.3 流作場に新潟駅が開業する(現在地に新潟駅が開業するのは昭和33年4月)。
1909 明治 42	12.22 2代目萬代橋が開通する。
1914 大正 3	4.1 沼垂町が新潟市と合併する。
1922 大正 11	8.25 大河津分水が通水する。
1926 大正 15	3.31 県営埠頭が完成する。
1929 昭和 4	8.23 3代目萬代橋の竣工式が挙行される。
1931 昭和 6	9.1 上越線が全線開通する。
1932 昭和 7	「満州国」が建国され、新潟港からも満州へ兵士が派遣される。
1938 昭和 13	8.12 政府が新潟港を満州開拓民の出発港に指定する。
1945 昭和 20	8.11 新潟市民に疎開を命じる知事布告が伝えられる。 8.15 昭和天皇の「終戦の詔勅」がラジオで放送される。 新潟県が新潟市に出した緊急疎開命令を解除する。 9.25 新潟市へ進駐したアメリカ軍が、市公会堂に師団司令部を置く。
1948 昭和 23	6.13 栗ノ木排水機場の運転が始まる。
1950 昭和 25	8.1 新潟県内の農地改革が終了する。
1956 昭和 31	この年から、地盤沈下による浸水騒ぎが新潟港周辺で起こる。
1959 昭和 34	12.14 北朝鮮帰還者を乗せた帰還船第1船が、新潟港から出港する。
1964 昭和 39	6.16 マグニチュード7.5の新潟地震が発生する。
1965 昭和 40	6.12 阿賀野川流域に有機水銀中毒(新潟水俣病)患者の発生が発表される。
1969 昭和 44	11.19 新潟東港の開港宣言が行われる。
1972 昭和 47	8.10 関屋分水路の通水式が行われる。
1973 昭和 48	6.15 新潟～ハバロフスク間に定期航空路が開設される。
1978 昭和 53	9.21 北陸自動車道の新潟～長岡間が開通する。
1982 昭和 57	11.15 上越新幹線の新潟～大宮間が開通する。
1989 平成 1	9.16 新潟～新発田間を結ぶ新新バイパスの全線が開通する。
2001 平成 13	1.1 新潟市と黒埼町が合併する。
2002 平成 14	6. 新潟スタジアムで2002FIFAワールドカップの3試合が開催される。
2005 平成 17	新潟市と近隣13市町村が合併し、人口が80万人を超える。
2007 平成 19	4.1 新潟市が本州日本海側初の政令指定都市となり、区制を施行する。